

2. 会計監査人指摘事項に関する消し込み表

対象期間：〇〇期連結会計年度（2004年〇月〇日から2005年〇月〇日まで）

子法人等名称	会計監査人 往査月日	会計監査人 指摘事項	子法人等経営者側回答	子法人等決算フォロー	未回答事項に対する フォロー
1 〇〇(株)	2004年7月1日	1. 債務超過解消 について	最新経営計画を提出、社 長とのディスカッション 実施、双方了解しました。	2004年10月15日付で〇〇(株) 取締役経理部長〇〇氏より、 経営計画に変更無い旨の確認 書入手	
		2. 引当金につい て	2004年9月中間期より修 正します。	2004年10月15日付で〇〇(株) 取締役経理部長〇〇氏より、 適切に修正した旨及び影響額 を文書で入手	
		3. 不良債権につ いて	2004年9月中間期に追加 引当を行います。	2004年10月15日付で〇〇(株) 取締役経理部長〇〇氏より、 追加引当した旨及び引当額を 文書で入手	
		4. 滞留在庫につ いて	2004年9月中間期まで に、過剰在庫を調査しま す。	未回答	〇〇(株)取締役経理部 長〇〇氏に対して、 会計監査人指摘事項 への対応状況の確 認・報告を依頼した。

		5. 試算表とシステムデータの不一致について	毎月データ更新時に相互の不一致を確認・修正する作業を行います。	8 月以降データ更新時に相互の不一致を確認・修正する作業を実施しており、差異は解消しております。	
--	--	------------------------	---------------------------------	--	--

利用上の留意点

- ・ この表は、会計監査人が往査した連結子法人等 1 社毎に作成することを想定しております。
- ・ 各連結子法人等毎に、会計監査人の指摘事項を聴取し、指摘事項の概略を記載します
- ・ 親会社の関連部署を通じて、指摘事項に対する各連結子法人等の回答及び対応を記載します。この時、中間及び年度決算（必要であれば、四半期各決算）に影響があるかどうかを識別することは有用です。
- ・ 中間及び年度決算（必要であれば、四半期各決算）において、指摘事項に対する各連結子法人等の回答及び対応より識別されている決算に反映すべき事項が、正しく反映されたかどうかについて確認します。
- ・ 上記の確認は、親会社の関連部署を通じて、指摘事項に対する各連結子法人等の処理結果を確認するのがよいと思われます。
- ・ この会計監査人指摘事項に関する消し込み表の記載は、例示であり、その内容につきましては、各社の状況に応じて、追加・削除してください。